

新型コロナウイルス感染症

長野県対応記録集

— 私たちの経験と未来への教訓 —



長野県

新型コロナウイルス感染症

長野県対応記録集

— 私たちの経験と未来への教訓 —



長野県

発刊にあたって

令和2年1月に国内で初の新型コロナウイルスの感染者が確認されました。2月25日には県内で初の感染者を確認、以降、令和6年4月に通常の医療体制に戻るまでの4年余りの年月は、まさに未知の敵との闘いであり、試行錯誤を繰り返しながら、全力で対策にあたってきました。

この間、本県では確認されているだけで467,982人もの方が感染し、900人の方の尊い命が失われました。

「救える命が救えなくなる事態」にならないよう、県、市町村、医療関係者、検査事業者、福祉・学校・保育等の各施設の方々、そして県民の皆様と総力を挙げて対策を講じてまいりました。特に医療関係者や高齢者施設の従事者の皆様には、大変厳しい環境の中で、患者や施設利用者の命を守るべく、ご尽力いただきました。また、この間、県民や経済事業者の皆様には多くの要請をさせていただき、厳しい状況の中でも惜しみない協力をいただきました。改めて、全ての県民の皆様にご心より感謝申し上げます。

県では医療提供体制を整えるため、病床の確保、検査体制の拡充、宿泊療養施設の整備等を医療関係者などにご協力いただきながら取り組み、ワクチンが開発されてからは、市町村等と協力し、県民のワクチン接種を推進してきました。

県民の皆様へは、県独自の医療アラートや感染警戒レベルなどを用いて呼びかけを行い、状況に応じて不要不急の外出の自粛や飲食店等の営業時間短縮、イベント開催時の制限など行動制限を伴う感染対策を要請してきました。

また、深刻な誹謗中傷や差別的な扱いも見られたことから、市町村や経済団体、民間団体等と協力して啓発活動を繰り返してまいりました。

今回の新型コロナ対応で、知事としても組織としても、感染症対策に対する一定の知見や手法を見出すことができた部分もありますが、新型コロナが国内に侵入してきた初期はほとんど手探りの状況でした。今回のような感染症危機はいつ起きるか予測できませんが、将来必ず到来すると言われています。

そのため、感染症対策の基本的な方針、今回の対応のポイントや考え方、その背景等をできる限り詳しく残しておくことが、後世に対する責任であると考えて、記録集として残すこととした次第です。

この記録集が今後再来するかもしれない未知のウイルスの出現、新たな感染症危機の対応にあたる関係各位、県民の皆様の一助となれば幸いです。

令和7年（2025年）1月

長野県知事

阿部 守一



新型コロナウイルス感染症

長野県対応記録集

— 私たちの経験と未来への教訓 —

— 目 次 —

発刊にあたって 長野県知事 阿部 守一	003
---------------------	-----

新型コロナウイルス感染症をめぐる主な動き	010
----------------------	-----

第1章 概観 012

第1節 新型コロナウイルスの出現～初期対応	012
-----------------------	-----

中国・武漢で原因不明肺炎発生／クルーズ船の患者受入れが最初の対応に

第2節 感染の波と本県の主な対応	014
------------------	-----

第1波 突然の休校要請や緊急事態宣言に対応（R2.2.25～6.17）

第2波 繁華街での感染拡大目立つ（R2.6.18～10.31）

第3波 感染拡大場面の多様化、集団感染も多発（R2.11.1～R3.2.28）

第4波 ワクチン接種開始、アルファ株～デルタ株登場（R3.3.1～6.30）

第5波 デルタ株置き換わり、ワクチン効果も（R3.7.1～12.31）

第6波 オミクロン株で爆発的増加、初のまん延防止等重点措置（R4.1.1～6.30）

第7波 オミクロンBA.5に置き換わり、強い措置は行わず（R4.7.1～9.25）

第8波 全数届出見直し、患者数・死亡者数は過去最多に（R4.9.26～R5.2.28）

第3節 5類感染症への移行	022
---------------	-----

* * *

〈Interview〉※肩書は対応当時	023
---------------------	-----

関 昇一郎氏（長野県副知事／長野県総務部 部長）

金井信一郎氏（長野県新型コロナウイルス感染症対策専門家懇談会 構成員）

第2章 実施体制 028

第1節 法・条例に基づく体制構築	028
------------------	-----

感染症法と特措法／本県における本部体制／長野県新型コロナウイルス感染症等対策条例の制定

第2節 組織・人員体制の整備	033
人員体制の強化／課・室などの設置／専門家等への意見聴取／保健所	

第3節 取組の評価	038
法・条例に基づく体制構築／組織・人員体制の整備	

* * *

〈Interview〉 ※肩書は対応当時	039
----------------------	-----

本田 孝行氏（長野県新型コロナウイルス感染症対策専門家懇談会 座長）
 前沢 直隆氏（長野県新型コロナウイルス感染症対策室 室長／危機管理監兼危機管理部 部長）
 西垣 明子氏（松本保健福祉事務所 所長／長野県健康福祉部保健・疾病対策課 課長）
 小島 康晴氏（長野県議会議員 改革・創造みらい 代表）

第3章 まん延防止対策 046

第1節 感染状況の把握と共有	046
全数届出と県内外のモニタリング／感染警戒レベルと医療アラート／報道機関への 情報提供	

第2節 感染拡大時の措置や要請	052
国の枠組みを用いて実施した措置等／県の取組として実施した措置等	

第3節 感染拡大防止のための対策	055
集団感染対策／幅広い検査／学校の対策／保育所等の対応／県組織の感染対策	

第4節 感染拡大防止のための事業者対応	060
社会福祉施設等への対応／サービス業・接客業等への対応／その他の民間企業等への対応	

第5節 様々な情報発信	064
県外の感染状況の発信／多様な媒体を使った発信	

第6節 新しい生活様式の定着・促進	065
新しい生活様式の周知／イベントへの対応	

第7節 取組の評価	069
感染状況の把握と共有／感染拡大時の措置や要請／感染拡大防止のための対策／ 様々な情報発信／新しい生活様式の定着・促進	

* * *

〈Interview〉 ※肩書は対応当時	072
----------------------	-----

福田 雄一氏（長野県危機管理部 参事〔新型コロナウイルス対策担当〕／健康福祉部 部長）
 和田 純子氏（長野県環境保全研究所 感染症部 部長）
 内堀 繁利氏（長野県教育委員会 教育長）
 野中 祥子氏（長野県県民文化部 子ども・若者担当部長／こども若者局 局長）
 塚田 昌大氏（松本市保健所 所長）
 松岡 裕之氏（飯田保健福祉事務所 所長）

堀米 直人氏（飯田市立病院 院長）
 毛利 栄子氏（長野県議会議員 日本共産党県議団 団長）
 北村 正博氏（長野県商工会議所連合会 会長／長野商工会議所 会頭）
 萱垣 光英氏（長野県高齢者福祉事業協会 会長）

第4章 医療提供体制 086

第1節 受入体制の整備 086

医療圏と連携体制

第2節 相談・検査体制 088

相談窓口／検査体制の整備／変異株の監視体制／検査能力拡充に向けた支援

第3節 療養体制の確保 092

医療機関における病床確保と入院措置／宿泊療養／自宅療養／院内感染予防と高齢者施設内療養支援／治療法の確立に向けた支援

第4節 外来・一般診療への影響 103

流行下における外来診療体制／医療ひっ迫への対処／配慮が必要な方への対応

第5節 医療機関への支援 107

医療資材の確保／医療従事者の確保／医療従事者等の心のケア／補助・協力金等

第6節 5類感染症移行への対応 112

円滑な移行に向けて

第7節 取組の評価 113

相談・検査体制／患者受入・外来診療／療養体制／医療機関への支援

〈年表〉医療提供体制に関する本県の主な対応 117

* * *

〈Interview〉※肩書は対応当時 121

久保 恵嗣氏（長野県新型コロナウイルス感染症対策専門家懇談会 座長）
 須藤 恭弘氏（上田保健福祉事務所 所長／長野県健康福祉部感染症対策課 感染症医療対策監）
 飯塚 康彦氏（長野県新型コロナウイルス感染症対策専門家懇談会 構成員／
 長野県医師会 副会長）
 花岡 正幸氏（長野県新型コロナウイルス感染症対策専門家懇談会 構成員）
 山崎 善隆氏（長野県新型コロナウイルス感染症対策専門家懇談会 構成員）
 杉山 敦氏（長野県医師会在宅医療推進委員会 委員長）
 荒井 裕国氏（JA長野厚生連北信総合病院 統括院長）
 石毛 広雪氏／岡田 邦彦氏（JA長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター院長／副院長）
 佐伯 英則氏（長野県消防長会 会長）
 松本あつ子氏（長野県新型コロナウイルス感染症対策専門家懇談会 構成員）
 中村 雅彦氏（松本市立病院 院長）

第5章 ワクチン接種 140

第1節 「信州方式」の接種体制構築 140

初回接種における新型コロナワクチン承認の流れ／ワクチン接種体制の整備／初回接種における優先順位とスケジュール／ワクチン接種「信州方式」／市長会、町村会との意見交換会

第2節 初回～追加接種の実施状況 145

ワクチン供給量の調整／県接種会場の設置と運営／職域接種における企業支援／初回接種の推進／3回目接種の流れ／4回目接種スタート／小児および乳幼児への接種／副反応の対応／5類感染症移行に向けて

第3節 接種の促進 152

高齢者施設等への巡回接種／現役世代や若年層への接種促進を目指して

第4節 接種促進・不安軽減のための広報、配慮 154

多様なメディアによる啓発／長野県ワクチン接種相談センター／聴覚及び視覚障がい者への配慮

第5節 取組の評価 156

ワクチン接種の状況／市町村との連携／県接種会場の運営等／広報・相談

〈年表〉新型コロナワクチンに関する本県の主な対応 159

* * *

〈Interview〉※肩書は対応当時 161

諏訪 孝治氏（長野県危機管理部 次長兼参事〔ワクチン接種担当〕）

丹羽 克寿氏（南信州地域振興局 局長）

南 希成氏（長野県新型コロナウイルス感染症対策専門家懇談会 構成員）

伊藤 正明氏（長野県歯科医師会 会長）

日野 寛明氏（長野県薬剤師会 会長）

第6章 経済対策 166

第1節 県内経済の状況と支援体制 166

初期対応／方針と体制／県内産業の状況

第2節 事業者支援 168

「新しい生活様式」における経済活動支援／需要喚起・振興策／経営支援／様々な事業支援

第3節 観光産業振興 181

基本的な取組／需要喚起・振興策／観光事業者支援

第4節 就労支援と生活維持のための経済的支援 187

相談・支援体制と情報提供／就労支援／収入減少・困窮等への対応

第5節 取組の評価 189

事業者支援／観光産業支援／生活支援

* * *

〈Interview〉※肩書は対応当時 191

林 宏行氏（長野県産業労働部 部長）

風間 辰一氏（長野県議会議員 自由民主党県議団 団長）

渡辺 高秀氏（長野県観光部 部長）

犂山 典生氏（長野県経営者協会 事務局長）

黒岩 清氏（長野県中小企業団体中央会 会長）

中村 正人氏（長野県商工会連合会 専務理事）

根橋美津人氏（日本労働組合総連合会長野県連合会 会長）

中村 実彦氏（長野県旅館ホテル組合会 会長）

駒谷 嘉宏氏（長野県索道事業者協議会 会長）

中村 吉秀氏（長野県社交飲食業生活衛生同業組合 副理事長）

第7章 誹謗中傷や様々な困難への対応 202

第1節 誹謗中傷等の抑止 202

人権侵害の実態と県の方針／誹謗中傷抑止に向けて／人権侵害防止のための啓発活動／

誹謗中傷等からみんなを守る共同宣言

第2節 困難を抱える人々への支援 205

支援体制と情報発信／心のケア／日常の生活援助を要する人に

第3節 取組の評価 209

誹謗中傷等の抑止／生活支援／外国人への情報発信

* * *

〈Interview〉※肩書は対応当時 210

原 啓明氏（長野県健康福祉部感染症対策課 課長／参事〔地域医療担当〕）

諏訪 光昭氏（長野県議会議員 県民クラブ・公明 代表）

第8章 国、自治体等との連携 214

第1節 国と地方の役割と連携 214

主導する政府への要望／自治体間の連携

第2節 市町村、県議会との連携 217

市町村とともに／県議会

第3節 取組の評価 218

〈Interview〉 ※肩書は対应当時	219
----------------------	-----

- 牛越 徹氏（長野県市長会 会長／大町市長）
- 小林 良清氏（長野市保健所 所長）
- 藤森 茂晴氏（北信地域振興局 局長）
- 永原 龍一氏（上田地域振興局 局長）
- 羽田健一郎氏（長野県町村会 会長／長和町長）

Special Interview 阿部知事が語る	225
---------------------------	-----

資料編	233
-----	-----

県民アンケート／感染状況・療養状況等のグラフデータ／医療アラート・感染警戒
レベル運用経過等／関連条例／対応方針／「新しい生活様式」の発信／新型コロナ
ウイルス感染症への対応年表

凡 例

本記録集は、新型コロナウイルス感染症が国内で発生した令和2年1月から、令和6年3月末まで（5類感染症移行を経て通常の医療提供体制に完全移行するまで）の本県における対応を中心に、まとめたものである。

◇表記について

- ・感染症名は、原則「新型コロナウイルス感染症」あるいは「新型コロナ」とし、一部「コロナ」と略したものもある。
- ・年号の表記は和暦を基本とし、表・グラフ内など一部はアルファベット（令和＝R）で示した。
- ・時刻は原則24時間表記とした。

◇感染の波（期間）について

- ・本県では、県内及び全国の感染状況を踏まえ、長野県新型コロナウイルス感染症対策専門家懇談会での確認を経て、感染の各波の期間を決定したため、政府又は他の都道府県が示すものとは期間が異なることがある。

◇インタビューについて

- ・令和6年6月から9月にかけて実施した。
- ・掲載者の肩書は、新型コロナ対应当時（令和2年1月～6年3月）のものとした。インタビュー時点、記録集発行時点のものとは異なる場合がある。

◇新聞記事について

- ・必要に応じて本文の省略や組み方の変更をしているため、実際に新聞に掲載された記事とはレイアウトが異なる場合がある。

新型コロナウイルス感染症をめぐる主な動き [第1～5波]



[第6波～5類感染症移行後]

